

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 井手久武	電話番号	0852-22-5909
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	校舎等大規模修繕事業
目的	(1) 対象 県立学校の児童・生徒・職員 (2) 意図 安全・安心な教育環境で学校生活を過ごせるようにする。
事業概要	安全・安心な教育環境の確保及び施設の長寿命化を図るため、老朽化が進行している県立学校施設を計画的に改修する。 ・ 建築後、概ね15年以上経過した校舎・体育館等について、屋上防水や外壁等の大規模改修を実施する（通常リフレッシュ事業）。 ・ 建築後35年以上経過した主要な学校施設について、屋上防水・外壁等を実施するとともに、設備・内装等についても一定の改修を実施し、教育環境の向上を図る（緊急リフレッシュ事業）。 ・ また、老朽化した県立高校の寄宿舎について、屋上防水や外壁等の大規模改修を実施する（緊急リフレッシュ事業）。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 通常リフレッシュ事業の実施率	目標値		35.8	41.5	56.6	75.5	%
	式・定義 実施済棟数/実施必要棟数	実績値	18.9					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 緊急リフレッシュ（校舎等）の実施率	目標値		25.0	45.8	76.4	88.9	%
	式・定義 実施済棟数/実施必要棟数	実績値	16.7					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	895,164	787,273
うち一般財源 (千円)	274,364	787,273

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

全体的に学校施設は老朽化が著しい。  
通常のリフレッシュ事業に加え、平成25年度から緊急リフレッシュ事業を開始し、校舎等の老朽化対策の推進及び教育環境の向上を図っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

緊急リフレッシュ事業としては、平成25年度は4校5棟実施、平成26年度は4校8棟実施、平成27年度は5校11棟を実施し、教育環境を向上させた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
大規模改修が必要な校舎や体育館等が多数ある。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
・大規模改修は逐次実施しているが、対策が必要な箇所が非常に多いことに加え、各施設は年々老朽化が進行する。
- ③原因を解消するための「課題」  
・大規模改修が必要な校舎や体育館等を適切に把握し、一定の事業量で計画的に老朽化対策を継続して行く必要がある。  
・適切な点検や予防保全を取り入れた施設の維持管理と学校施設の状況変化を捉えた修繕が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・築35年以上の校舎等主要施設を対象に、長寿命化のため内部・設備も含めた施設改修を実施する。  
・大規模改修が必要となる箇所、範囲、規模、内容等を適切に把握し、実施時期を調整しながら事業計画を策定し、これを基に着実に必要な改修を行っていく。

9. 追加評価（任意記載）